

平成 28 年度まちづくり懇談会会議録【西方地区】

日 時 平成 28 年 11 月 24 日（木） 19：00～20：00
会 場 西方地区センター
参加者 60 人

※「第 2 次菊川市総合計画について～第 1 次菊川市総合計画の振り返りと今後 9 年間の計画～」と題した説明のあと、参加者の皆さまとの懇談（質疑応答）に入りました。

※会場からのご意見・ご質問

●沢田 男性

市長のお話から P D C A サイクルを回すというお話がありました。今計画や実績の数値データを基に検証するとか、PDCA サイクルを回すにはちゃんとした数値計画が必要だと思いますが、その点はいかがでしょう。

○企画財政部長から回答

今ホームページに上がっているのですが、第一次総合計画後期基本計画進捗状況報告書というものがあります。今年度までは第一次総合計画を進めており、来年度から第二次総合計画になる訳ですが、この中で政策ごと P D C A に沿って、こういうプランで、こういうことを実行し、その結果こうだったので、こういう反省点があり、次年度はこの点を注意したいということを、政策ごとに P D C A を回しております。それでご質問の数値目標ですが、第一次総合計画では 107 項目の数値目標を、第二次総合計画では 117 の数値目標を設定しております。この中には誰が見ても納得していただける客観的な数値、例えば何かを何%まであげるというような客観的な数値と、それから毎年皆様方をお願いをしている、市民アンケートで市民の皆様が一定の項目についてこれだけ満足してもらえると、皆様方のお気持ちを反映した数値の両方があるのですが、それを 117 つの項目にして表しているものがあります。

●堀田 男性

第一次総合計画の中で新生児に対する祝い金の支給あるいはこどもの医療費の無料化といったものをしていただき、誠にありがとうございました。第二次総合計画のお話を聴きまして、今数値目標の学費の無料化とかあるいは給食

費の無料化そういうものが、意外と報道なんかで出てくるのは大きい都市よりも市町村の規模が小さいところが、やはり子育て支援という意味でやられている報道が時々あります。この第二次総合計画にはそういったものが含まれておりますか。できれば含めていただきたいと考えておりますが、いかがでしょうか。

○市長から回答

子育て支援には一番力を入れておりまして、その成果が人口増加に繋がっていくと思います。今申し上げられましたように各自治体の子育て支援に関しては色々な政策を行っております。特に菊川市としては、中学生までの医療費助成の実施や、多子世帯に対して支援をしております。これは内部で話し合いをしたり、あるいはそういった子育て中の方の意見を聴いたり、どれが一番優先的にやっていくかということで決めております。

従いまして、今菊川市では、人口減少を食い止めるため、多子世帯の皆さんの経済的負担を抑えようということで、保育料について、第3子に関しては今制限がありますがそれは撤廃して、少しでも支援ができればということで来年度から考えております。

もう一つ、待機児童が今1名と非常に残念ですが、今年出てしまったので、「待機児童は0人」ということで来年度からやっていこうと思います。ですがなんといっても菊川市では幼稚園より保育園へという人が増えていることと、私どもが予想していたよりも子どもの数が減らないということで幼稚園、保育園に定数よりも20%程度多く預かってもらっている状況です。ですからそこを抜本的に変えないと非常に親御さんに迷惑をかけることになりますから、経済的支援だけでなく、システム的なこともこれから考えていきたいと考えております。

(閉会：20：00)